

エクセルの基本機能 (Vista用)

エクセルは日常生活で使う機会がないので不人気ですが、とても有能なソフトですので、一度は「どんなものか？」を体験してみましょう。

1. まず下記のように文字と数字を入れて下さい。

入れたい場所(セル)を左クリックすると選択できます。選択したセルに文字や数字を入力できます。入力後TABを押すと選択セルが右へ、ENTERを押すと下へ移動します。下図では黒枠で囲まれた5が入っているセルが選択されています。このセルを「B2のセル」と呼びます。

	A	B	C	D
1		男	女	合計
2	1月	5	8	
3	2月	4	10	
4	3月	6	6	
5	4月	5	9	
6	5月	6	7	
7	6月	4	6	
8	7月	5	8	
9	8月	3	5	
10	9月	6	8	
11	10月	4	7	
12	11月	5	9	
13	12月	3	8	
14	合計			
15				

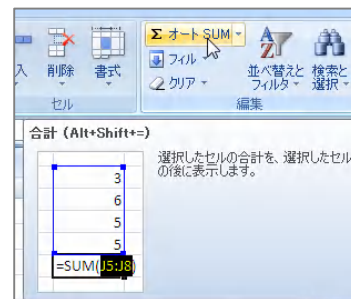
便利な機能

1月、2月・・・のように一連の文字列はオートフィル機能と言って、最初の1月だけを入力し、その右下隅を下へドラッグすると自動的に2月、3月が埋め込まれます。

	A	B
1		男
2	1月	
3		
4		
5		3月
6		

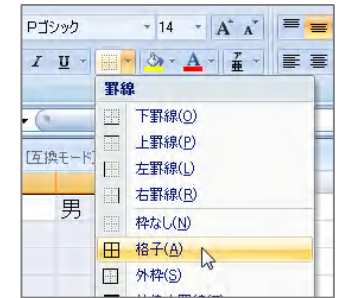
2. 合計を出す

B2からB13のセルまでをドラッグして選択します。次に編集リボンのΣ(オートSUM)をクリックします。そうするとB14に選択した12個の数字の合計が出ます。同じく、女性の合計、また各月の男女の合計を出して下さい。



3. 罫線を入れる

表全体(A1からD14まで)をドラッグして選択し、フォント・リボンの格子から田形の格子を選んでください。これで表に罫線が入ります。最初からある薄い色の線は罫線ではなく、印刷すると出ません。



4. グラフにする

A1からC13までを選択します。

「挿入タブ」の「グラフ・リボン」の「縦棒」→「集合縦棒」をクリックします。これだけで一応のグラフができます。

更に「レイアウト 9」を選択し、「グラフタイトル」の上をクリックして「ぱそこん倶楽部出席人数」と変更。縦の「軸ラベル」をクリックして「人数」、横の「軸ラベル」をクリックして「開催月」と変更します。

	A	B	C	D
1		男	女	合計
2	1月	5	8	13
3	2月	4	10	14
4	3月	6	6	12
5	4月	5	9	14
6	5月	6	7	13
7	6月	4	6	10
8	7月	5	8	13
9	8月	3	5	8
10	9月	6	8	14
11	10月	4	7	11
12	11月	5	9	14
13	12月	3	8	11
14	合計	56	91	147
15				

